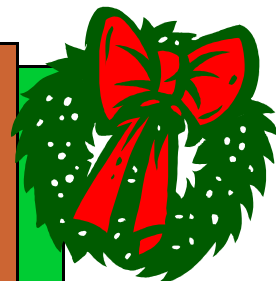


のびやか



42号



ひまわり東棟 クリスマス会

12月19日にひまわり東棟では、クリスマス会を行ないました。時代劇をモチーフにした劇を始め、職員と利用者の女の子によるダンス、ボランティアによるピアノ演奏・オカリナ演奏、夏祭りで発表した、すまいる音楽隊“一生懸命”による歌を行ないました。たくさんのご家族にもご参加いただき、音楽いっぱいの盛大なクリスマス会になりました。

（保育士 堀）



・・・シリーズ 「耳鼻咽喉科から」 第6話・・・

『のどの病気』

青い鳥医療福祉センター 診療部長 別府 玲子
（耳鼻咽喉科）

今回はのどの病気についてお話しします。のどの病気というと何を一番に考えられるでしょうか。

病気の名前というよりは、「のどが痛い」、「飲み込む

目次：

シリーズ「耳鼻咽喉科から」	2
外来診療部コーナー	3
「日中活動の事業所の紹介」	4～5
入所部門コーナー	6
読書コーナー	6
地域自立支援協議会からのお知らせ	7
掲示板	8

ときのどが痛い」、「声がかすれる」などの症状を連想されるのではないのでしょうか。ではのどが痛くなる病気には何があるのでしょうか。いろいろな病気がありますが、一番多いのはのどの感染症です。急性咽頭炎、急性口蓋扁桃炎が急に痛くなる病気の代表的なもので、急性咽頭炎は病名がかぜとして扱われることが多いようです。

ここで、「かぜ」について少し説明しますが、皆さんは、意外にかぜについては、「かぜをひいた」と、自分で診断していることはないですか。昔からかぜは万病の元といわれるように、かぜはいろいろな病気の要素を含んでおり、一般的には風邪症候群のことで、主にウイルスによる急性の上気道炎のことをいい、疾患としては、急性鼻炎、急性咽頭炎、急性喉頭炎を引き起こし、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、咳、痰などの症状が出現し、全身倦怠感、発熱、食欲低下を伴います。

さて急性咽頭炎に話をもどします。急性咽頭炎は先に述べたようにのどの風邪ですから、原因は主にウイルスで、二次的に細菌感染を伴う場合があります。症状は、咽頭痛、嚥下痛、全身倦怠感、発熱などがあります。なんとなく前日の夜から、寒気がして、のどがへんだなあと思っていたら、翌日目が覚めると、のどが痛くて、食事ものどを通らないという経験をお持ちの方もいると思います。治療は症状に対しての対症療法で、安静を保ち、のどが痛く、熱があるような場合は、解熱鎮痛剤を投与し、細菌感染を伴っている場合は、抗生剤の投与を行います。

次に、急性口蓋扁桃炎についてですが、原因は、連鎖球菌、ブドウ球菌などの細菌感染で起こる場合が多く、感染を引き起こす誘因は、かぜ、疲労、環境の変化、物理的刺激などです。症状は、強い咽頭痛、嚥下痛、全身

倦怠感、発熱などで、食べ物が痛みのため食べることができなくなることもあり、内服薬だけで改善が望めないような、所見、血液検査結果のときは点滴治療が必要になります。症状が出たら、早めに内科や耳鼻咽喉科にかかることが大切です。



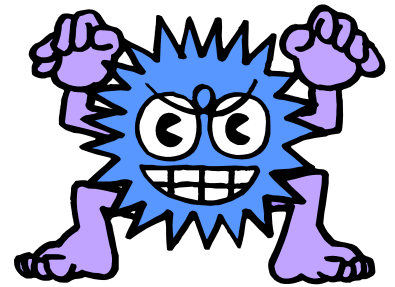
のどの病気としては、その他、急性喉頭炎、急性喉頭蓋炎、扁桃周囲膿瘍など、放置すると重篤な状態を招く疾患もありますので、のどがおかしいと感じたときには、早めに受診することをお勧めします。



「インフルエンザについて」

臨床検査技師 浅井美由紀

毎年冬になると話題にのぼるインフルエンザ。日本では12月から患者さんの数が増えはじめ、2月初めにピークを迎えた後、4月には終息することが多いようです。一般に言われる普通の風邪もインフルエンザもウイルスや細菌などに感染することによって起こる病気ですが、原因となる病原体の種類が異なります。普通の風邪は200種類以上のウイルスや細菌などが原因になるのに対して、インフルエンザはインフルエンザウイルスのみが原因となります。インフルエンザは普通の風邪と比べて症状が格段に重く、感染力も強いので特別扱いされています。



インフルエンザの症状は、突然の38度を越える高熱、関節痛・筋肉痛・倦怠感など全身症状です。

インフルエンザの診断方法として、咽頭ぬぐい液からウイルス分離や血液の抗体価を測定する方法がありますが、これらは結果が出るのに日数がかかるため当センターでは迅速キットを用い検査を行います。

迅速キットの検査方法は、綿棒で鼻をぬぐったものを試薬と反応させ、約15分で結果が判明します。それは、インフルエンザにかかっているにもかかわらずウイルスの量が少ないと検査は陰性になることがあります。インフルエンザに感染した初期、または感染後日数が経過した時です。検査は喉をぬぐっても検査は出来ませんが、ウイルスの量が喉より鼻の方が多いため、当センターでは鼻を拭って検査を行っています。

迅速キットの検査方法は、綿棒で鼻をぬぐったものを試薬と反応させ、約15分で結果が判明します。それは、インフルエンザにかかっているにもかかわらずウイルスの量が少ないと検査は陰性になることがあります。インフルエンザに感染した初期、または感染後日数が経過した時です。検査は喉をぬぐっても検査は出来ませんが、ウイルスの量が喉より鼻の方が多いため、当センターでは鼻を拭って検査を行っています。

空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。のどの粘膜の防御機能が低下するためです。そのため、外出時にはマスクを利用したり、室内では加湿器などを使って適度な湿度（50～60%）を保ちましょう。十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日ごろからバランスよく栄養をとることも大切です。帰宅時のうがい、手洗いも、一般的な感染症の予防としておすすめします。また、インフルエンザにかかって、咳などの症状のある方は特に、周りの方へうつさないために、マスクの着用が勧められます。



週3日の親子通園からはじめて、単独通園に移行します。3歳児以上は単独通園を基本とし、水曜日のみ親子通園となっています。医療的ケアが必要である場合は、保護者付き添いの場合もあるとのことでしたが、医療度が高いからといって入園を断ることはないとのことでした。

「通園」の他に「発達相談事業」の一環として「療育グループ」が行われています。

「療育グループ」は週1日の親子通園で、70人程度が通っているそうです。就園前のお子さんを対象とした午前のグループと、幼稚園、保育園に通いながら並行して通園しているお子さんを対象とした午後のグループがあるそうです。「療育グループ」は契約ではないため、自己負担のないサービスで行っているとのことでした。

少子化といわれるこの時代においても「通園」の需要は高く、定員が一杯で通えないこともあります。通園の40名の定員に空きができると、「療育グループ」に通うお子さんの中に希望者があれば、年齢順に「通園」へ通えるようになるとのことでした。

「通園」のクラス編成は、障害程度別に編成されており、1クラス7～8名の児童に対し職員も3名と手厚く配置されています。指導員、保育士に加え、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保健師も療育に関わっているそうです。

訓練は療育の時間とは別に設定されており、理学療法士なども必要があれば療育に参加し、姿勢やオルソチェア、靴などもみながら指導して下さるとのことでした。

それぞれの専門職が連携をはかりながら医療、リハビリ、福祉や療育を担っています。自閉症など発達障害のお子さんから、気管切開や胃瘻など医療ケアが必要なお子さんなどさまざまな障害を持つお子さんに対応できるような体制が整っていると感じました。

他に「通園」の場面だけではなく生活を知るための家庭訪問があったり、「通園」を終了した児童の保護者を対象とした勉強会や職

員も入った話し合いを行うアフターケアグループであったりと、お子さんが受ける療育だけではない地域支援やアフターフォローができていると感じました。

「北部地域療育センター」は、障害をもつお子さんが単に療育を受けにくるだけでなく、保護者の支援も含めて、一人ひとりの障害や生活など細部にわたる支援がされていると感じました。また一つずつの段階を得てその後のフォローもあることなどからも、地域に根ざした施設であると感じました。

また、見学させていただいたクラスには当センターに通ってみえるお子さんもいて、同じ地域にある施設として、今後はセンターと「北部地域療育センター」との連携や情報交換も何らかの形でできればと思いました。

(保育士 服部)



↑
【訓練室】 →



【室内プール】

入所部門

★★重症心身障害児(者)棟 「たんぽぽ東棟」★★

「秋味の会を楽しみました」

たんぽぽ東病棟では、食べることの大好きなメンバーが集まっています。活動の場では、皆で調理して、食べる行事を年に何回か行っています。

春は、節句のお菓子作り、夏はかき氷や蒸しパンなどの出店、他にも各グループでお好み焼きパーティを開催したり、収穫した野菜でスープ作りなど季節に合わせたイベントで盛り上がります。

そして、今回は“秋”をテーマに秋味の会が開催されました。今年で3回目となります。利用者さんが中心となり、スタッフが危険のないように手を添えながら、秋刀魚を3枚開きにし、ホットプレートで焼きました。ボールに皆で作ったたれにつけこんで蒲焼きを作ったり、アレルギーのある方の為に塩焼きにしたりと病棟中がとてもいい匂いに包まれました。行事で何回か調理するうちに、利用者さんも意欲的に参加するようになり、今回はどの利用者さんも順番を待ち、自分の出番の時に、“待ってました”とばかりに出来る力を発揮されていました。もちろん味のチェックも忘れずに行いました。とても脂がのり、新鮮な秋刀魚を夕飯で皆で美味しくたくさん食べられ、食欲の秋を堪能されていました。

(看護師 小尾野)



読書コーナー

詩画集「やさしさの引力」

詩：松兼 功 絵：葉 祥明



「やさしさの引力」というタイトルと優しい色彩のメルヘン調の美しい絵に惹かれ手にした一冊です。表紙の砂浜で海を眺める車椅子の男の子の後姿も印象的です。

障害のある人もない人もお年寄りも若い人もだれもが笑顔で暮らせる社会ができたらいね。脳性まひによる四肢機能障害のため車椅子を使った生活をされている松兼功さんと絵本作家の葉祥明さん、二人の作家の「やさしさ」がこの一冊にはいっぱい込められています。

大好きな友達や家族はもちろん、まだ出会っていない誰かとも…いっぱい話してみたくなる一冊です。

(指導員 坂井)

地域自立支援協議会からのお知らせ



「尾張中部福祉圏域障害者自立支援協議会」設立1周年記念講演会

愛知県障害者自立支援協議会委員、愛知県障害者相談支援スーパーパイザーの谷口明広氏（愛知淑徳大学教授）をお招きし、障がい者が住みなれた地域で自立した生活をするために、地域資源（支援力）の開発と活用について講演会を開催いたします。

日時：平成21年2月17日（火） 13：00～15：00

場所：春日町中央公民館 2階大会議室 春日町大字落合字東出8番地

講師：愛知淑徳大学医療福祉学部福祉貢献学科 教授 谷口 明広氏

内容：「住みなれた地域で自立した生活をするために」

～地域資源（支援力）の開発と活用～

入場：無料（駐車場に限りがあります。乗り合わせてのご来場をお願いします。）

☆問い合わせ：尾張中部福祉圏域自立支援協議会事務局 電話：0568-22-1123

「海部東部広域障害者地域自立支援協議会」勉強会

障害等福祉サービス関係事業者向けの「精神障害」の勉強会を行います。

日時：平成21年2月20日（金） 14：30～16：30

場所：甚目寺町総合福祉会館 3階 つどいの部屋1・2

内容：「精神疾患への理解と支援」について

講師 愛知県津島保健所 健康支援課 主査 佐々木 直紀氏

対象：障害福祉サービスをはじめとする精神障害に携わる者等

定員：50名（応募多数の場合は抽選とさせていただきます。）

☆問い合わせ：海部東部広域障害者地域自立支援協議会事務局 電話 052-443-4291

「西区障害者地域自立支援協議会」映画上映会&講演会

「障害のある人もない人も、誰もが住みやすい街をめざして」

西区障害者地域自立支援協議会では、「誰もが住みやすい街」「心のバリアフリー」をめざし、心の健康や障害について地域の皆さんの理解を深めていただくために、映画上映会と講演会を行います。

日時：平成21年3月7日（土） 12：30 開場 13：00 開演

場所：西区役所 講堂

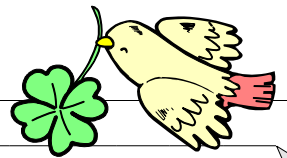
内容：映画「ふるさとをください」（字幕・副音声付き）

講演会「こころについて」

講師 名古屋市精神保健福祉センター 所長 新畑 敬子氏

定員：300名（入場無料） *交通機関のご利用をお願いします。

☆問い合わせ：西区障害者地域生活支援センター 電話 052-504-2102



外来診療のご案内

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 児童精神科(長谷川) 児童精神科(野邑・森本) <第1・3・5> 歯科(平岡)	小児発達外来(安井) 皮膚科(杉浦) 児童精神科(小野) <第1・3・5>	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 小児発達外来(安井)	整形外科(栗田) 小児科(鈴木) <第1・3> 小児科(生田) <第2・4> 耳鼻科(別府) 児童精神科(早川)	整形外科(栗田) 小児科(安井) 児童精神科(長谷川)
	耳鼻科(別府) 児童精神科(野邑・長谷川) 児童精神科(森本) <第1・3・5> 歯科(伊藤・平岡) 外来新患カフアレス	小児科・染色体外来(山中) <第2・4> 児童精神科(小野) <第1・3・5>	リハ科(岡川) 小児発達外来(安井) 泌尿器科(斎藤) <原則として第2・4> 眼科(高井)	児童精神科(早川) 歯科(河合) <第4>	小児外科(小児外科医) <第3> 児童精神科(長谷川)

○平成21年1月1日現在の外来診療です。
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください。

外来療育相談予定表(1~3月)

	伊藤相談員		大橋相談員		
	午前	午後	午前	午後	
1月9日(金)	○	○	1月13日(火)	○	○
1月16日(金)	○	○	1月20日(火)	○	○
1月23日(金)	○	○	1月27日(火)	○	○
1月30日(金)	○	○	2月10日(火)	○	○
2月6日(月)	○	○	2月17日(火)	○	○
2月19日(木)	○	○	2月24日(火)	○	○
2月27日(金)	○	○	3月3日(火)	○	○
3月5日(木)	○	○	3月10日(火)	○	○
3月13日(金)	○	○	3月17日(火)	○	○
3月19日(木)	○	○	3月23日(月)	○	○

*予約制となっております。



- 名鉄犬山線 中小田井駅下車(名古屋駅から犬山方面普通電車で乗り、4つ目の駅、所要時間9分)徒歩で約3分。
- 地下鉄東山線 上小田井駅下車 徒歩で約13分。
- 一宮方面からは、国道22号を「古城1」で左折、4つ目の信号「中川町4」を右折し、2つ目の信号を左折してすぐ左折。
- 橋JCT方面からは、東名阪自動車道 山田東インターを降りて約10分。
- 四日市方面からは、東名阪自動車道 平田インターを降りて約5分。

担当 **伊藤相談員**
 地区 津島市、弥富市、海部郡(七宝町、甚目寺町、飛島村)、北名古屋市
 その他の市町村(名古屋市以外)

担当 **大橋相談員**
 地区 愛西市、海部郡(美和町、大治町、蟹江町)、清須市、西春日井郡(豊山町、春日町)、名古屋市

ホームページもご覧ください
<http://www009.upp.so-net.ne.jp/aitori/>
 *過去の「のびやか」も掲載されています。